

# 信実集

すみよしの三十六首<sup>二</sup>

くさのほにかげをとどめて飛ぶ蛩

露やおもひのかずにもゆらん

経のれうしの百首に

ひろふてふ玉にもがもな楸生ふる

きよきかはらに蛩とぶなり

九条前内大臣家にて、海辺のほたる

ともしびのあかしの浦のあだ浪の

よるの蛩はあともさだめず